

バードウォッチング

飛島の豊かな環境は、渡り鳥たちにとって重要な中継地となっています。しかし、島の高齢化が進み、鳥たちが集まる環境に影響が出る可能性が高まっています。その飛島で先日、バードウォッチを行って見ました。

スマホのみで観察しましたが、写真に収めることができました。春に一時期に一齐にやってくる一方、秋は長期間にかけて分散してさまざまな種の鳥がやってくるので、日々その変化を楽しむことができます。飛島では鳥たちが疲れているためか、私のような素人でも直線距離3m程度であれば容易に近づくことができました。観察場所は中村会館の近くで、近くにぐみの木もあり、その果実を狙っていたのでしょうか？



観察できたジョウビタキ(?) ↑ ↓

飛島の 過去の足跡

日本海に浮かぶ山形県唯一の有人島・飛島は、離島としての地理的価値が高く、自然環境や漁業資源に恵まれているだけでなく、長い歴史の中で地域の交通

Tabishima
協力隊通信

令和6年

11月

構成・文責：

飛島地区地域おこし協力隊粕谷玲緒
とびしま総合センターTEL 95-2001



や防衛の要所としても重要な役割を果たしてきたと言われてしています。

その証拠として、土器があげられます。青森県などの東北北部の土器と新潟県などの東南北部の土器が同時期に出土するという特異性からこのような考察がされています。

他にもテキ穴という不思議な洞窟もあり、その歴史は洞窟内の人骨から平安時代から居住していたと思われるそうです。しかし、その存在には不思議なところも多く、津波の襲来による可能性など様々な考察がなされているそうです。



←テキ穴洞窟